

2019年 2月 26日

神戸学院大学 交換・派遣留学生 報告書			
氏名	ハリス 青雲		
所属	経営学部 経営学科	留学開始学年	4 年次
留学機関名	グリフィス大学 (国名: オーストラリア)		
留学先所属			
留学形態	学部留学 (交換留学)		
留学期間	2018年2月 ~2019年2月		

1. 出発前について

ビザ	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ種類 ()	ビザ申請先	国内 現地 場所 ()
必要書類 手続に要した期間			
ビザ申請以外で必要 な手続き			
留学先の手続き (必要書類、大変だ ったこと、どのよう に取り組んだか)	留学先では、主に学生証の発行、寮の入居手続きなどを学期始め に完了する必要がありました。		
留学前に必要な経費 (概算)	住居費 月約5万円 教材費 約3万円 (履修する授業数、内容により変化) 渡航費 (片道・往復) 約5万円		

2. 出発～到着時の生活

利用航空会社	ジェットスター	手配会社	ジェットスター
移動経路 (往路)	関西→ケアンズ→ブリスベン	到着時刻	
空港から大学 (滞 在先) への移動手 段	大学の出迎え 知人の出迎え タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (バス 電車) その他 ()		
空港から移動する 際の注意点、行き 方	到着時は基本的にインターネットの使用は困難なため、事前に地図 などを用意して置く必要がある。		
住居タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> アパート その他 ()	住居手配	大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で その他 ()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 (キッチン、リビ ングは共有) 2人部屋 その他 ()	ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 <input checked="" type="checkbox"/> 現地の学生 その他 ()
住居申込手順	留学先大学 HP より		
住居でのトラブル	オフィスに相談するのが最適。レジデンシャルアドバイザーと呼ば		

及び解決方法	れる学生スタッフにもサポートしてもらえる。
大学までの距離	
1 ヶ月の生活費及び内訳（概算を円）	生活費合計 12万 円/月 （生活費内訳） 家賃：5万円、光熱費：円、通学費0円（基本的に徒歩のため）、 食費：3万円、通信費：1万円、書籍代：3万円、 その他（ ）： 円
その他生活に必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払等）	オーストラリアでの口座開設についてはパスポートの他に留学先の学生証、住所が記載された料金表などの身分証が要求される場合がありますので保管しておくことと後々困りません。携帯料金についてはプリペイドが主流で、月々必要なデータ量を毎回チャージしていました。手続きがスムーズな Sim フリーの携帯電話を持参することを推奨します。

3. 留学先の大学について

授業の概要について（授業形態、単位、勉強方法等）	グリフィス大学（恐らくオーストラリア全ての大学）では授業がコースと呼ばれ、1 授業おおよそ 3 時間か長いもので 4 時間のカリキュラムが組まれています。内訳は基本的に座学 2 時間、ゼミでのディスカッション 1 時間といった風になっています。	
履修登録の時期及び方法	渡航前 渡航後 (10～2 月頃) オンライン登録 書類で提出 その他 ()	
履修した科目	受講期間：2018年2月27日～2019年1月31日	単位
	・ビジネス英語、マーケティング、経営学	12
留学生特別措置（履修制限、優先措置、留学生専用オリエンテーション、チューター制度等）	有 ・Griffith Mates という学生スタッフによる留学生サポート ・一部授業履修制限あり。留学生オリエンテーション。 無	
留学先大学でのサポート体制（語学面/学校生活/住居、日常生活面等）	Griffith Mates を中心に多くの学生向けサービスが存在し、充実したサポート体制が整っているため、困ったこと、相談したいことがあれば、メールまたはオフィスに直接うかがう事で、生活面、学習面などのコンサルティングを受けることが可能です。	
留学先大学の手続きについて（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	学期が始まるまでに学生証の登録を行います。手続きは基本的にオンラインで行い、オンラインでの情報登録を完了したのちオフィスに学生証をもらいに行きます。	
授業外活動について（サークル、部活、インターン、フィールドワーク） ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけ等具体的に	毎週火曜日に大学キャンパス内の体育館にてソーシャルスポーツ（バレーボール）を行っていました。グリフィス HP からソーシャルスポーツを検索し、オンラインページから登録を行います。料金は 1 学期の分の参加で約 6,000 円ほどです。	

5. 一週間の生活（授業、課外活動、勉強、プライベート等について）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	起床→予習→授業（約3時間）	起床→予習→授業（約3時間）	日用品や食材などの買い出し	一日オフなので友達とゴールドコーストへ行ったリブリスベンシティでお買い物をしたり	起床→授業（約2時間）	起床→大学のジムでトレーニング→友達の寮で雑談	起床→図書館でそれぞれの授業の復習
午後	課題（グループプレゼン、エッセイ、オンラインクイズ、セルフリフレクションなど）	友達とランチ→洗濯 or 図書館で勉強	大学のジムでトレーニング/図書館で勉強/友達と雑談	同上	キャンパス内のカフェで友達と雑談 or 買い物	ランチ→日用品や食材の買い出し	ランチ→お出かけ（マウントクーサ、ゴールドコースト、イートストリート）
夜間	フラットメイト（寮が同じ友達）と食事やお買い物	ソーシャルスポーツ（毎週大学で行われるバレーボールリーグ）に参加	予習→授業（約2時間）→帰宅→ネットサーフィン、食事、シャワー	友達と夕食、イベントなどに参加	大学で行われるパーティーに参加 or 図書館で勉強	友達とブリスベンシティで食事、買い物	お出かけ or 図書館で勉強

4. 留学期間成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学力、考え方、培われた能力）
<p>オーストラリアに1年間滞在し、学習面と生活面でかなり多くの貴重な経験を得ることが出来たと思います。まず学習面において僕が一番オーストラリアの大学に在籍して感じていたのは授業で出される課題の量が日本のそれに比べてはるかに多いということでした。授業によって出される課題の種類も様々で、僕は主にビジネスに関する授業を履修していたのですがほとんどの授業でグループワークやクラスメイトとのディスカッションが求められ、最初は語学力への不安や緊張からうまく議論に参加できなかつたり、タイムマネジメントの難しさに苦しみエッセイやレポートをこなすということを難しく感じていたように思います。そのため留学したての頃はずっと図書館にこもり勉強していましたが、何回か授業を重ねて友達が出来てきた頃、周りの学生に分からない点を聞いたり課題を一緒にしたりする機会が増え徐々にそうした不安や緊張はなくなっていきました。そうした課題や授業をこなしていくうちに語学力はもちろんのこと、自分の専門分野である経営学に関する理解が留学期間に比べて深くなったのを感じ、以前にも増して自信が出てきた様に思いました。</p> <p>生活面において最も成長させることが出来たのは自主性だと思います。僕は元々実家暮らしだったこともあり、生活をするうえで不便に感じたりすることはほとんどありませんでした。しかし家事や料理などを自力でし、フラットメイト（寮の同居人）と円滑なコミュニケーションをとっていく必要がある寮やシェアハウスで1年間過ごせたことで</p>

<p>以前より何事にも主体的に取り組む事が出来るようになったと感じており、この経験はこれから生きていく上で必ず生きていくものだと思っています。</p>
<p>同じ大学へ留学する後輩へのアドバイス（留学先大学、授業や勉強に関すること、生活全般等について）</p> <p>僕が留学をさせて頂いたオーストラリアという国を一言で表すとすればそれは多様性だと思っています。様々な経験やバックグラウンドをもった人々がオーストラリアには存在していてそこから生まれる異なった意見、考え方や視点が社会で共有されているというのが僕がオーストラリアで一番感じたことです。日本でもグローバル化は進んでいるのは確かですが、オーストラリアでは日本にいれば会うことがほとんど無かった人たちとシェアハウスで過ごしたり、大学でのグループワークで出会ったりしました。また日常生活において、お店で働いている人達がオーストラリア以外の異なる文化的バックグラウンドを持っている場合が多いのでオーストラリアの主言語は英語ですが場所によってはほとんど英語が聞こえてこないような地域があったりまたその逆も存在したりします。語学力のレベルが人によって様々なのでオーストラリアは語学力にまだ自信がない人から自信がある人まですべての人が自分に合ったやり方で勉強できる国だと思っています。もし語学力に自信がないという場合でも、挑戦したいという気持ちがあればオーストラリアへの留学経験はかけがえのないものになるんじゃないかなと思います。</p>
<p>留学を通しての感想</p> <p>1年間の留学を振り返ってみて思うことは留学をして本当によかったなということです。自分の知らない環境に身を置くことで今まで発見することができなかった考え方や違いが見えてきたためです。加えて、オーストラリアでの大学の授業は日本での講義が中心の授業とは異なりクラス内でのディスカッションが活発的に行われるという印象で、学生1人1人の学習テーマに対する意見が求められるため授業前に出来るだけ予習をする必要がありました。こうしてインプットした知識を授業内で発信することによってより学習テーマに関する知識が深くなり、授業で出される課題もより効果的に進めることができるようになったと感じました。またそれに付随して英語力も留学前に比べてはるかに成長したとあって、実際に語学を聞き、話すということの重要性を再認識させられました。</p> <p>僕が一年間滞在したブリスベンという都市はオーストラリアでも今発展が著しい都市で街が活気にあふれていました。また世界中の人を魅了するビーチが存在するゴールドコーストにも行ける位置にありマリンスポーツを楽しむには最高の場所だと思います。他人にもマウントクーサというブリスベンの景色が一望できる山や、イートストリート、フォーティチュードバレーと呼ばれる繁華街も街に存在していて僕も休日はよく友達とご飯を食べに訪れたりしていました。</p> <p>1年間の滞在は本当にあっという間で本当に楽しくもあり挑戦的でもあった時間を過ごすことが出来たと感じています。</p> <p>帰国後はこうして培った経験を活かしまだどんどん新しいことに挑戦していきたいと思っています。</p>

